

第4回 北海道型作業システムモデル路網整備計画検討委員会 (概要)

第4回北海道型作業システムモデル路網整備計画検討委員会においては、修正案による現地調査結果を踏まえ活発な意見交換が行われました。主な意見は3のとおりです。

1 日時

平成24年10月30日 9:30～14:30

2 会場

北海道森林管理局 3階 大会議室

3 主な意見

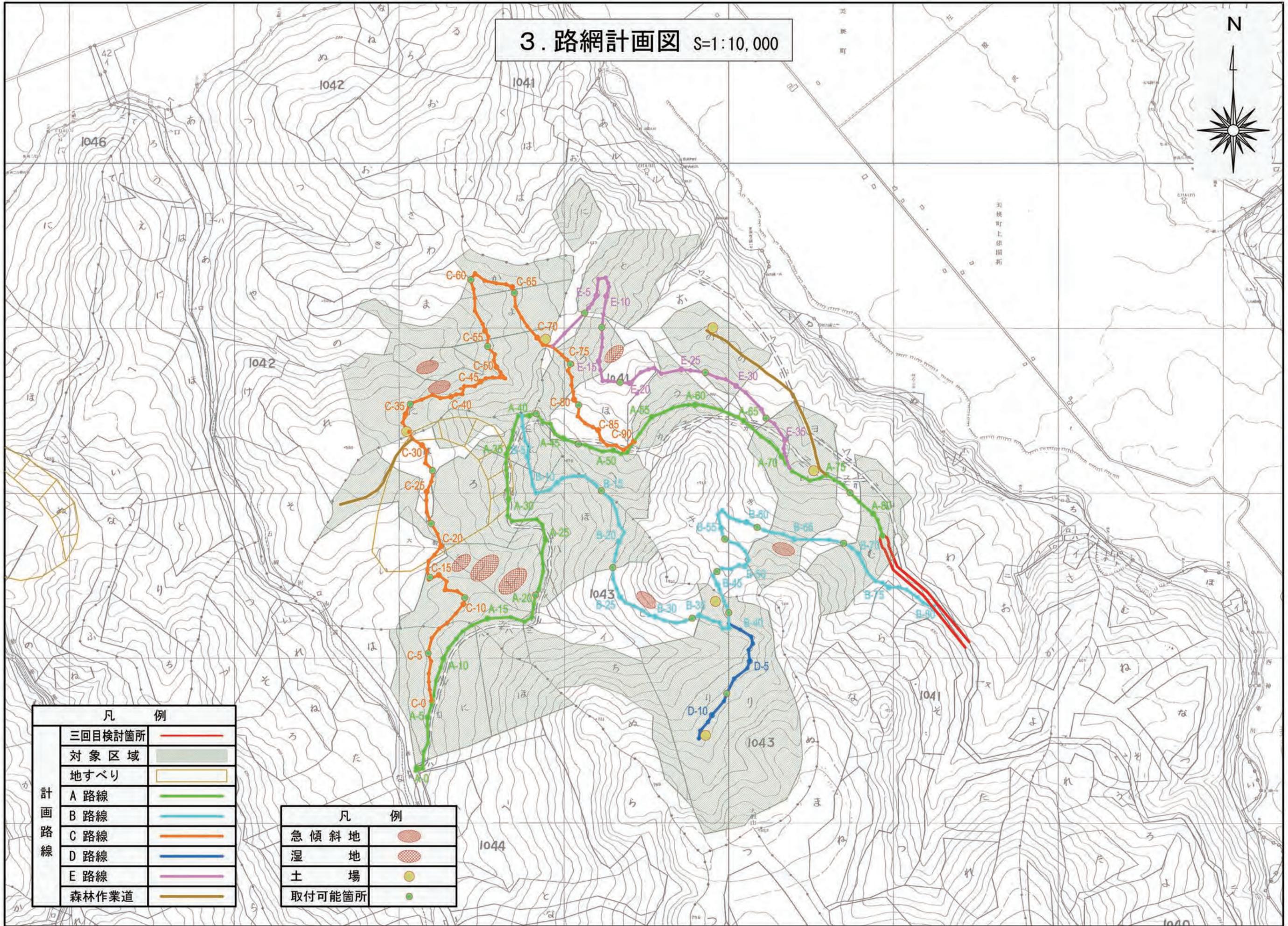
◇ 美瑛地区路網設置に関する意見

- 湿地があることや地すべりの兆候がみられることから、大きな切盛は避けた方がよい。
- 近くにはトムラウシ山など溶岩ドームの火山になっている高い山があるので、その浸食を受けた形となっているのではないか。
- 予定路線の上部に湿地があるところは、水が常時流出することは無いと思われるが、側溝は必要と考えている。
- 既設作業道とほぼ平行しているC0からC10までと、C10の沢を渡ったあたりからC18付近までの箇所は、水の影響が考えられるので側溝が必要ではないか。
- 緩傾斜地であることから、作業実施するために重機が林地へのアクセスすると、側溝が埋まって機能なくなる恐れがある。
- 通常の台形ではなく、三角側溝にして丸太を置けば側溝が埋まることはないのではないか。

◇ 作業システム等に関する意見

- 今回のモデルで整備した路網での集材作業等について、その効果を今後、検証等すべき。
- 林道とは、ともすると道をつけることを中心に設計されてきているが、作業システムとのマッチングを考慮する視点が必要である。
- 今回の検討をきっかけに低コスト・高効率作業システムと路網配置の関係の重要性を提言していくことが大切である。

3. 路網計画図 S=1:10,000



凡 例	
三回目検討箇所	—
対象区域	■
地すべり	■
A 路線	—
B 路線	—
C 路線	—
D 路線	—
E 路線	—
森林作業道	—

凡 例	
急傾斜地	●
湿地	■
土 場	●
取付可能箇所	●